

夏の交通安全運動

運動期間 7月13日（火）～7月22日（木）

本市の交通事故の状況は、令和3年5月末現在、人身事故の発生件数、負傷者ともに、前年より減少しており、死亡事故については、一昨年の3月以降発生していない状況にあります。

しかしながら、これから新型コロナウイルス感染症まん延防止等重点措置の期間が終了すると、交通量が増加し、重大な交通事故が発生するおそれがあります。

7月13日から7月22日までの間、「夏の交通安全運動」が実施されます。また、7月13日は「飲酒運転根絶の日」です。悲惨な交通事故を無くすためには、飲酒運転の根絶はもちろん、スピードダウンや全席シートベルトの着用など一人ひとりが交通ルールやマナーを遵守するといった安全意識を持つことが大切です。

「交通事故のないまち」北広島を実現するため、市民の皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

令和3年7月

北広島市長 上野 正三



「つくろうよ 事故のない未来を ぼくたちで」をスローガンに、7月13日から夏の交通安全運動が実施されます。

北海道は例年この時期に交通事故が多発します。

6月13日未明、厚別区で乗用車に追突された自転車利用者が亡くなる事故が発生しました。

このような悲惨な事故を起こさせないためにも車や自転車利用者、歩行者など全ての人が交通安全を自らのことと捉え、交通ルールの遵守や思いやりのある交通マナーを実践していただきたいと思います。

7月13日は「飲酒運転根絶の日」でもあります。

北広島市でも飲酒運転による交通事故が発生しています。

「飲酒運転をしない、させない、ゆるさない」という強い気持ちで飲酒運転を根絶しましょう。

令和3年7月

北海道札幌方面厚別警察署長 高橋 俊彦



北広島市、北海道札幌方面厚別警察署、北広島市交通安全運動推進委員会
北広島市東交通安全協会、北広島市西交通安全協会、西の里地区交通安全協議会
北広島市西部地区交通安全協議会、北広島市交通安全指導員会

酒は抜けたと思っていても・・・

残っていたら「飲酒運転」

寝たから大丈夫

眠っている時は、起きている時より、アルコールの分解速度が遅いと言われています

警察に捕まらなければ大丈夫

時間もたったし大丈夫

缶ビール1缶(350ml)でも、アルコールが抜けるまでには、かなり時間がかかります

タクシー・代行は面倒

運転うまいから大丈夫

近くだから大丈夫

慣れた道路ほど事故が多いので、自宅近くでも事故の危険性があります

少ししか飲んでないから大丈夫

少量でも、判断力や注意力、操作能力が低下し、事故の危険性が高くなります

事故を起こさなければ大丈夫

飲酒運転は犯罪です

酒酔い運転

罰則 5年以下の懲役または100万円以下の罰金
違反点 35点 ~~免許取消し~~ (欠格期間3年)

酒気帯び運転

罰則 3年以下の懲役または50万円以下の罰金
違反点 25点 (アルコール濃度0.25mg以上) ~~免許取消し~~ (欠格期間2年)
13点 (アルコール濃度0.15mg以上0.25mg未満) ~~免許停止~~
(停止期間90日)